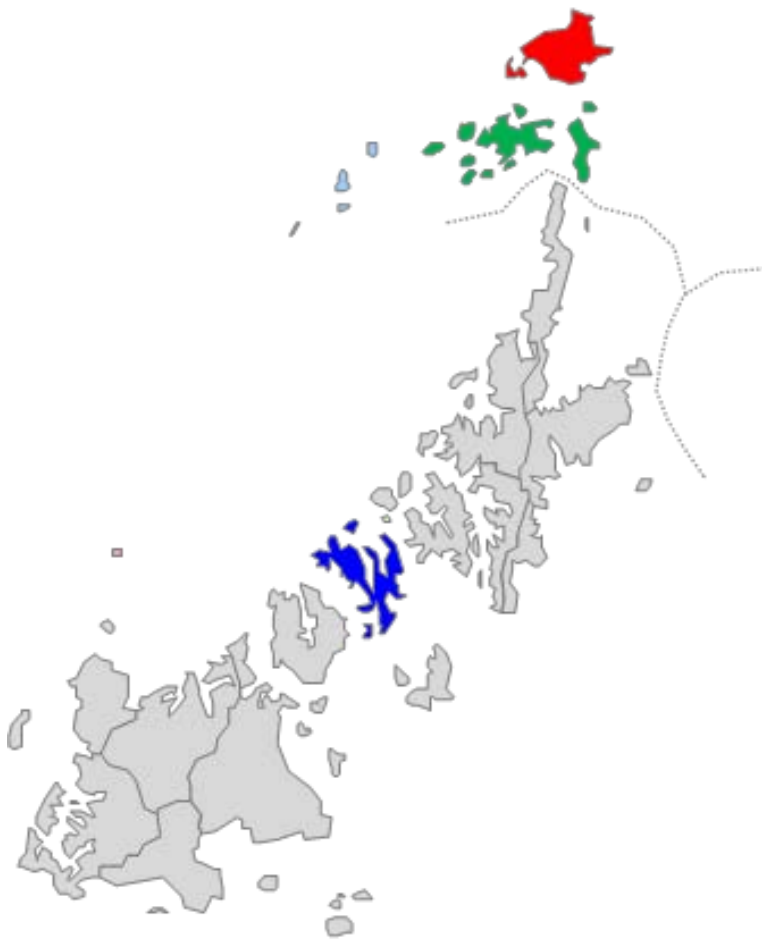


宇久地区・奈留地区・小値賀地区

長崎県小中高一貫教育調査研究報告書 (10年間のまとめ)



平成30年2月

長崎県教育委員会

目 次

はじめに	1
1 長崎県における小中高一貫教育導入について	2
(1) 長崎県における小中高一貫教育導入をめぐる経緯	2
(2) 各地区の概要	2
(3) 導入の背景	4
(4) 研究組織	4
(5) 12年間を見通した教育課程の編成	4
(6) 構造改革特別区域計画	4
2 調査研究の取組	5
(1) 検証すべき仮説の設定理由	5
(2) 検証すべき仮説	5
(3) 検証方法	6
(4) これまでの取組内容(平成20年度から平成29年度)	8
①各地区の特色ある取組	8
②校種間乗り入れ授業	14
③合同行事	16
④部活動(合同練習)	18
3 成果及び課題(全体及び各地区)	20
(1) 仮説① 学習の基礎基本の定着	20
(2) 仮説② 基本的な生活習慣の確立	28
(3) 仮説③ 望ましい進路意識の向上	36
(4) 仮説④ 豊かな人間性・社会性の育成	44
4 今後の取組(各地区)	52
[資料編]	
1 検証結果	56
(1) 各種アンケート・調査の検証結果	56
①A A I	56
②C R T - II	66
③hyper-QU (Q-U)	71
④進路に関するアンケート	82
⑤悩み等に関するアンケート	84
⑥出席状況・問題行動等の発生状況調査	85
⑦仮説ごとの取組に対する教師の自己評価	86
2 学力調査結果等	120
(1) 全国学力・学習状況調査等(小学校)	120
(2) 全国学力・学習状況調査等(中学校)	121
(3) 進研実力テスト結果(高校)	123
3 進路状況	126
(1) 中学校卒業後の進路	126
(2) 高等学校卒業後の進路	127
4 児童生徒数・教職員数	128
(1) 児童生徒数	128
(2) 教員配置状況	129
5 「小中高一貫教育推進本部会議」設置要領	132
6 「小中高一貫教育推進組織」	133
おわりに	134